

## 米国 低温によりカリフォルニア州中部のブドウの出荷開始に遅れ

FreshPlaza 2023年7月20日

カリフォルニア州中部からのブドウの出荷が進んでいるが、開始が遅れた。バリ青果会社(Bari Produce)のジャスティン・ベッドウェル氏は、「他のすべてのことと同様に、我々は通常よりも約2週間遅れている」と言い、涼しい春の気温が遅れの背景にあると指摘する。同氏は、「弊社では通常、7月4日の独立記念日の直後にカリフォルニア州中部のブドウの収穫を始めるが、実際には今週、赤ブドウと緑色ブドウ、そのほか一部の特産のブドウの収穫を始めたところだ」と言う。(以下「」は同氏の発言)



カリフォルニア州の業界は生食用ブドウの出荷量は昨年と同程度と推定しており、バリ青果会社でも、一部の古い品種を除外しても同程度と見ている(新しい品種がこれに取って代わる)。種なし赤ブドウでは、古い品種だが食べやすい業界標準のフレイム(Flame)から始まる。続いてパッションファイア(Passion Fire)、その次がクリッシー(Krissy)で、どちらも大きくて新しい種なし赤ブドウ品種である。緑色ブドウでは、アイボリー(Ivory)から始まり、グレートグリーン(Great Green)、次にスイートグローブ(Sweet Globe)に移行するが、これらはすべて比較的新しい品種である。

カリフォルニア州中部のブドウの収穫の遅いスタートは、メキシコの収穫の遅れに続くものである。「通常、メキシコ産とカリフォルニア州中部産の間には間隔が空くが、今年はそうではない。メキシコ産がかつてないほど遅くまでカリフォルニア州産と重なっており、それは市場価格を少し押し下げるか、またはメキシコ産とカリフォルニア州産とに市場を分割することになるだろう。」

### 勢いづくのが遅い

需要に関しては、ますますだと言われている。市場にはまだメキシコ産のブドウがあるため、カリフォルニア州中部産の出荷シーズンは、通常の勢いでは始まっていない。「通常、新しい産地からの出荷が始まると需要は供給よりも大きくなるが、今は需給が均衡している。しかし、今週始まったばかりなので、出荷量が増えれば需要も増えることを願っている。」

一方、アジア市場はカリフォルニア州産ブドウの出荷開始に沸いていると伝えられており、バリ青果会社は来週かそこらには輸出用の梱包を開始すると見られる。「それ(輸出)は弊社の初期の荷を動かすのに役立つはずである。国内では、8月は通常人々が休暇を取り、バイヤーもいなくなる時期であるため、国内供給が良好なのは今後30日間である。」

価格設定に関しては、現時点では昨年と同様である。「メキシコ産が少し遅れており、我々も遅れているので、荷が動き続けるように市場を整えようとしているところだ。」

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク